



4月24日、地本は首都圏本部より

「首都圏本部における柔軟な働き方のさらなる実現について」

提案を受ける！

## 1、統括センターの新設および管轄区分の見直し

次の統括センターを新設するとともに、各統括センターの管轄区分を見直す。

名称	管轄区分	実施時期
東京統括センター	図①のとおり	2024年10月
中野統括センター		
池袋統括センター		
上野統括センター		
東京統括センター	図②のとおり	2025年3月
品川統括センター		
渋谷統括センター		
新宿統括センター		
池袋統括センター		
上野統括センター		
松戸統括センター		

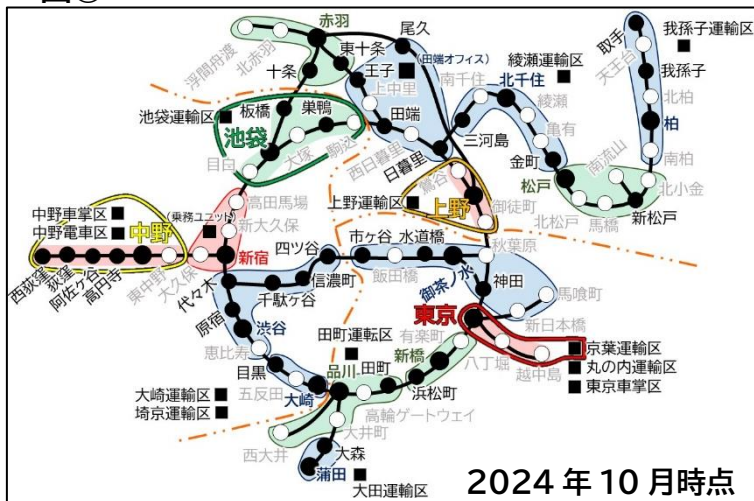
## 2、その他

- (1) 施策実施に向けた必要な準備を進めていく。なお、体制等については、別途お知らせする。
- (2) 第一項における統括センターの名称は仮称であり、今後変更となる可能性がある。

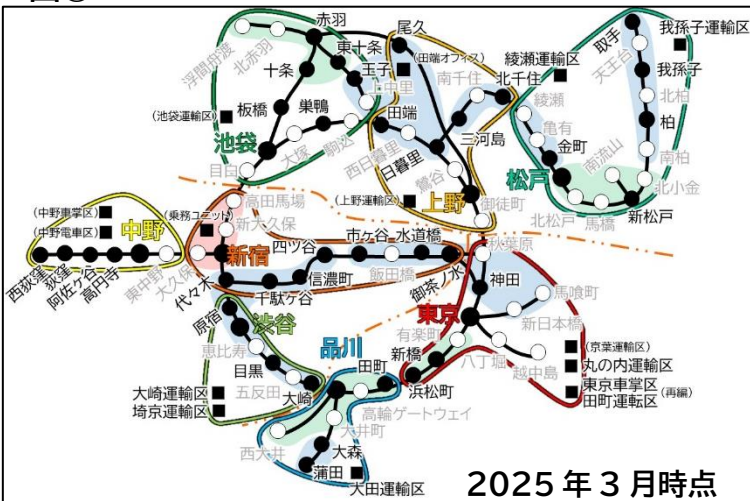
**【実施理由】**  
グループ経営ビジョン「変革2027」の目指す「鉄道起点からヒト起点のサービスへの転換」に向け、システムを超えて新たな価値の想像を一層推進していく観点から、社員一人ひとりの成長意欲に応え、活躍フィールドを拡大させていく必要があるため。

**【実施内容】**  
統括センターの新設等を実施し、これまでの役割分担(地区)のあり方を含むにとらわれない仕事の仕組みを実現していく。

図①



図②





### 「首都圏本部における柔軟な働き方のさらなる実現について」 提案を受ける！その①

#### 【実施目的】

組合

- ◆ 安全・サービスが基本となってお客さま満足度に寄与する考え方で進めていくのか。
- ◆ 東京運輸区（仮称）の提案を受けている。京葉運輸区や丸の内運輸区が発足し、様々、基地再編成の施策を行ってきている。その一方、議論してきた中で発足の意義が置き去りにになっていないか危惧する。
- ◆ 「システムを超えた新たな価値創造を」とあるが、施設電気や車両センター等とも一体となって進めていくものか。
- ◆ 地区は残るのか。
- ◆ 多様な働き方、柔軟な働き方ができる新たな統括センター化の枠組みによって、ジョブローテーションの意味はなくなる。統括センターの中で補えるではないか。効率的に考えれば、同じ箇所が多様な経験をした方が、本人と会社のためにもなる。

- その通りだ。
- 基地再編で行ってきたことは無駄ではない。活かした上で統括センターとして活躍フィールドを増やしていく。
- そうではなく、乗務員と駅業務を一つのものとして新たな価値創造をしていく。
- 名称は検討している。業務のまともりは残っていく。
- 統括センターとなれば人事異動がなくなるわけではない。統括センターができて担務変更もできる。個々の状況による。様々な経験と成長できる要素は増やしていく。環境が変化することで成長する人もいる。統括センター化によってジョブローテーションの考え方がなくなるものではない。会社として、ジョブローテーションを引き続き残して行っていくべきと考えている。

会社

#### 【1項 統括センターの新設および管轄区分の見直し】

組合

- ◆ 10月と3月に分かれている理由を示すこと。
- ◆ 丸の内運輸区は3月と時期が違う理由は何故か。
- ◆ 最終的な8つの統括センターの規模数を示すこと。
- ◆ リスク管理上、大丈夫なのか。その根拠は何か。
- ◆ これまでに1000名を超える統括センターはあるのか。
- ◆ 統括センター後にワンマン施策が実施されるが、統括センター内で担務変更となる考え方で良いか。

- 10月は、隣接する乗務員区、駅との融合を行っていく。3月にエリア見直しがあり、必要な準備を行うためである。
- 発足したばかりで変化点が多いためである。
- 現在員数だが、東京は1000超、新宿は700超、品川500超、渋谷600程度、中野500超、池袋500超、上野600超、松戸600超である。区分が変わるところもあるので、参考値にしていきたい。
- これまで、統括センター化を行い、知見は増えてきている。経営としては大丈夫であると判断している。
- 今までにない。
- 決まっていない。異動か担務変更と考えている。

会社



## 「首都圏本部における柔軟な働き方のさらなる実現について」

### 提案を受ける！その②

#### 組合

#### 1項の続き

- ◆ 統括センターを8つとした根拠を示すこと。
- ◆ エリアを変更していく理由を示すこと。
- ◆ 営業統括センターでの成果と課題について述べること。
- ◆ 新宿統括センターの課題として認識していることを示すこと。
- ◆ 田端統括センターの課題として認識していることを示すこと。
- ◆ 異動するにあたり、統括センターの範囲が広いため、本人とのコミュニケーションをより細かく行い、本人希望や家庭状況の把握を行うこと。
- ◆ 事業場単位は統括センターごとになるのか。
- ◆ 複数の乗務員区が統括センターとなる箇所が存在するが、働き方はどうなるのか。
- ◆ 全系統において、働き方で大きく変更することはあるか。

- 8つとしたのは、
  - ①社員の活躍フィールドの拡大 ②新たな価値創造と権限移譲を進め、スピーディーに行っていく ③安全・安定輸送の確保である。
- 路線や安定性・沿線価値向上の観点から行っている。
- 成果は、営業統括センター内で様々な取り組みを行ってきたことである、大駅でしかできなかったことを中小駅が行って経験できたこと。課題は、成果であることが全員に機会を設けられていないことである。
- 新宿では、乗務員が改札に入るなど、一つ一つの融合が進んできている。情報の伝え方に課題があった。また、発足したばかりでドタバタはある。
- 田端では、夜間帯の改札業務や車いすの案内業務を行ってきており、順調に融合が進んできている。現場からは問題は発生していないと聞いている。
- 変わりなく行っていく。
- そうなると考えている。
- 各乗務員区の単位で考えている。どちらも行くことは今は考えていない。線区別で行っていくことになる。
- 融合と連携を進めていく。足元の業務で大きく変わるものはない。車両、メンテナンス等の職場では駅や乗務員区との融合や連携を進めていく。

#### 会社

#### 【2項 その他】

#### 組合

- ◆ 体制等の別途お知らせについて、新宿統括センターの際に示されるのが遅かった。いつ頃を考えているのか。労使議論が確保できていなかった。休日明示のスケジュールも加味して行うこと。
- ◆ ワーキンググループの発足はいつ頃なのか。メンバー含めて現場に一任しているのか。
- ◆ 「要員不足の解消が目的の施策ではない」ことで良いか。
- ◆ 東京車掌区と田町運転区再編とあるが、なぜか。
- ◆ 新宿統括センターの提案では東京運輸区（仮称）とあった、なぜ、今回の資料には記載がないのか。
- ◆ 一部修正の提案で引き続き議論する。

- 具体的な時期は示せない。準備でき次第示していく。具体的に提起いただければ議論していく。
- 5月～6月になると考えている。できる箇所から行っていく。メンバー等は現場に一任している。
- その通りである。
- この後に修正提案をさせていただきたい。現行の組織名称を使った。
- 統括センターの説明があって、修正提案を行った方が良いと判断した。
- 了解した。

#### 会社